

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	さわやか愛の家さいだいじ館（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 8日		2024年 10月 11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2024年 10月 8日		2024年 10月 11日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 11月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	施設内がバリアフリーになっており、重症心身障害児や医療的ケア児の受け入れもやっている。また、様々な障害種別に対して個別支援計画に沿った支援を保育士・理学療法士・言語聴覚士・看護師が行っている。	医療的ケア児童も安心して過ごす事ができるように看護師を配置し適切な処置が受けることができます。またTECCHプログラムを取り入れ、構造化された環境で支援を行っています。さらに、個別支援計画の見直し時期には全職員でモニタリングを行っています。	様々な障がい特性に合わせて支援できるようにTECCHプログラムや様々な研修を行うことで質の高い支援を利用児童に合わせて行っています。ST・PTが個々の療育を行うことで摂食指導や言語療育、運動療育などニーズに合わせて取り組んでいけるようにする。
2	季節毎の行事がある。また大きなイベント時には1階の生活介護と季節の行事などを合同で行うことで、様々な方たち（地域の方や他事業所の方）と交流を図る機会がある。	大きな季節のイベントでは様々な方たちと交流が持てる様に誰もが参加できる行事を開催している。	夏祭り以外にも誰もが参加いただけるイベントを企画している。
3	児童の様子を送迎時やLINEを通して情報共有し合い、成長を共に喜び、困りごとに対しては共に解決できるように共通理解を深めている。また関係機関とも情報共有をしている。	統一した支援ができるように学校や相談員、他事業所とも情報交換を行っている。また職員で情報を共有することで、切れ目のない支援ができるようにしている。	子どもの様子を情報共有できるように定期的に会議を開催することで引き続き安心して利用して頂けるようにする。また子どもを中心に巻き取り関係機関と連携して情報を交換し成長をサポートできるようにしていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会の開催や保護者同士の交流する機会が少ない。	夏祭りイベント時に交流できる機会があったが、回数が少ないため日程の調整が難しい。	ご家族様などが参加できるイベントを企画していく。 (例) 夏祭り、クリスマス会、参観自由日など
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと交流する機会が少ない。	地域の公園や長期休み等を利用して児童館、商業施設に外出しているが外出先での活動が目的となっているため、交流する機会が少ない。	児童館や地域で開催されるイベントに参加することで交流する機会を増やしていく。
3	事業所で非常災害訓練や避難訓練等を行っているが情報が周知されていないことがある。	訓練等を行ったことをブログ等にアップしているが投稿したことをご家族様にお知らせできていなかった。	必要な訓練等を行った場合はブログだけでなく、ご家族様全員に周知頂けるようお知らせをしていく。